

みんなで楽しく!もっと一緒に!きたかたを元気に!

北方地区地域づくり計画書



北方地区コミュニティ推進協議会
北方地区地域づくり計画策定委員会

みんなで楽しく!もっと一緒に!きたかたを元気に!

目次

1. はじめに
策定にあたって
北方地区地域づくり計画策定委員会
委員長 名 生 東 右
2. 策定事業に取り組んで
北方地区地域づくり計画策定委員会
事務局長 齋 藤 輝 雄
3. 北方地区の概要
4. 事業概要
 - ①計画づくりに取り組む背景
 - ②計画づくり策定の経過と今後の方針
 - ③地域づくり計画策定の推進体制
 - ④事業実施経過
 - ⑤ワークショップ（策定委員会）の様子
5. きたかた5 ミッション ～地域づくり計画～
 - ・ ミッション I 次世代への人づくり
 - ・ ミッション II 助け合って暮らす地域づくり
 - ・ ミッション III 地域の宝・地域活動
 - ・ ミッション IV 農を生かした地域づくり
 - ・ ミッション V きれいなふるさとづくり
環境改善
6. 資料編

1. 策定にあたって

平成27年3月



北方地区地域づくり計画策定委員会

委員長 名 生 東 右

北方地区の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。今年度より、北方地区において登米市まちづくり基本条例に基づく「市民が創る地域のまちづくり計画」の策定作業に着手したところです。このことから、北方地区民各年齢層から40名の方々に策定委員としてご協力いただき、北方地区の資源や地域課題を含めた話し合いを進めて参りました。計画策定にあたり、特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム理事である足立千佳子氏を外部アドバイザーとしてお招きし、全5回にわたるワークショップの中で、策定委員の皆さんから、たくさんのご意見や提案をいただいたところです。また、北方地区民400名を対象としたアンケート調査を実施し、240名の皆さんから多方面にわたるご意見や提案をいただいたところでもあります。

地域づくり計画は、計画書をつくることが目的ではなく、北方地区の様々な年齢層の皆さんが「自分たちの地域はどんな地域なんだろう」、「地域の宝ってなんだろう」等様々な話し合いの中で生まれる、交流やつながり、策定に至るまでのプロセスが重要であると確信したところでもあります。

今後につきましても、ふるさと北方が「みんなが楽しく！もっと一緒に！北方を元気に！」をテーマに住みよい地域になるよう、ますますのご協力をお願い申し上げます。

結びに、「北方地区地域づくり計画」にご協力いただきましたすべての方々に深く感謝申し上げます。

2. 策定事業に取り組んで

平成27年3月



北方地区地域づくり計画策定委員会
事務局長(館長)斎藤 輝雄

平成26年度当初より、地域づくり計画の策定に向け、策定委員の構成や委員会規約の作成・アドバイザーの人選等を検討し、8月5日に第1回策定委員会を開催したところです。北方地区の各年齢層40名に委嘱状の交付を行い、早速当日から6班編成による熱心な意見・討論をいただき、地域づくり計画策定のスタートを切りました。第2回策定委員会は、北方地区の地域課題や資源についてより詳細に具体的な意見を出していただき、テーマ別に分類し発表いただきました。

また、策定委員のみならず多くの地域の声を反映させることを目的に、北方地区内400世帯を対象にアンケート調査を実施し、6割に当たる240世帯から、さまざまな分野での意見をいただいたところです。

第3回策定委員会には、「地域の良いところ」「地域の悪いところ」「困っているところ」「地域に伝わることや伝承等」について、6班編成で検討を行うとともに、住民アンケート調査結果も反映させ意見集約をして参りました。

第4回策定委員会では、これまで出された意見や要望を、「次世代へのひとづくり」「助け合って暮らす地域づくり」「地域の宝・地域活動」「農を活かした地域づくり」「きれいなふるさとづくり」の5本柱に分類する作業を実施し、第5回策定委員会において策定委員より様々な視点から最終的な意見をいただき「北方地区地域づくり計画書」としてまとめることができました。

地域づくり計画策定過程において、地域の各年齢層の方々が、それぞれの視点で北方地域について考え、「ふるさときたかたを住みよい地域に」をテーマに話し合うことができたことが、最大の効果であったものと深く感じております。

これまで、策定にご協力いただきました、地域づくり計画策定委員の皆様方に改めて厚く感謝申し上げますとともに、ご協力賜りました企画部市民活動支援課に感謝申し上げます。

3. 北方地区の概要

①沿革

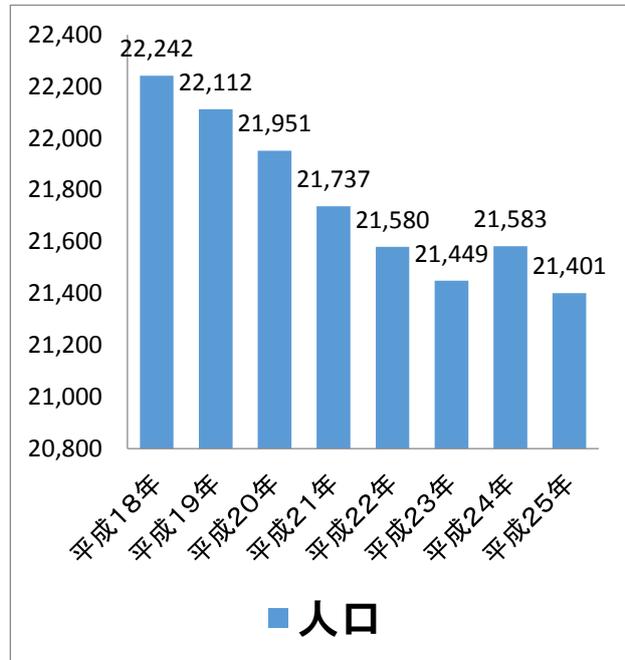
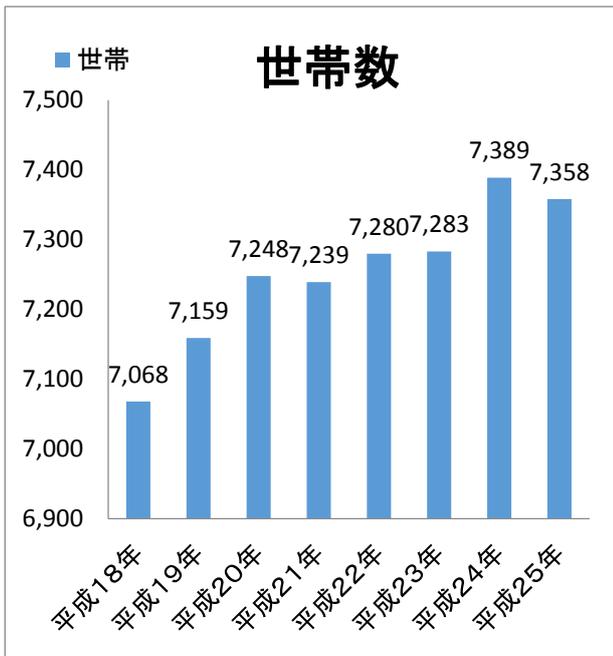
明治22年(1889年)4月1日、町村制施行に伴い、北方村のうち佐沼城下町を割いて佐沼町とし、残部を以て新製の北方村が発足される。昭和30年(1995年)4月1日に佐沼町・新田村と合併し迫町となる。平成17年(2005年)4月1日、登米郡8町と本吉郡津山町の9町が合併し、現在の「登米市」が発足したところです。

参考文献:「迫町史」(1981)



②世帯数と人口の推移

平成18年から平成25年の過去8年間で、世帯数は290世帯増加しているものの、人口は、平成18年をピークに減少傾向にあり、平成25年には21,401人となっており、平成18年から841人減少し、約4%減の人口減となっています。



4. 事業の概要

①計画づくりに取り組む背景

平成24年4月に登米市まちづくり基本条例が施行され、市民の参加・参画を推進し、「協働によるまちづくり」が実施されてきたところです。

北方地区コミュニティ推進協議会においては、平成23年 4月より公民館の指定管理者として、魅力ある地域づくりを地域の皆さんと一緒に推進して参りましたが、昨今の、社会情勢の変化や人口減少等、様々な地域課題を解決するためには、①「公民館を拠点とした地域づくり」、②「地域でできることは地域で」、③「地域の資源や宝の再確認」を基本とし、地域づくり計画の策定に取り組んで参りました。

地域づくり計画は、「みんなで楽しく！もっと一緒に！きたかたを元気に！」をスローガンに創り上げるもので、様々な年齢層の方々が、様々な話し合いの中で、共通認識を図りながら、みんなで、「ふるさと！きたかた！」を創り上げていくため策定するものです。

②計画づくり計画策定の経過と今後の方針

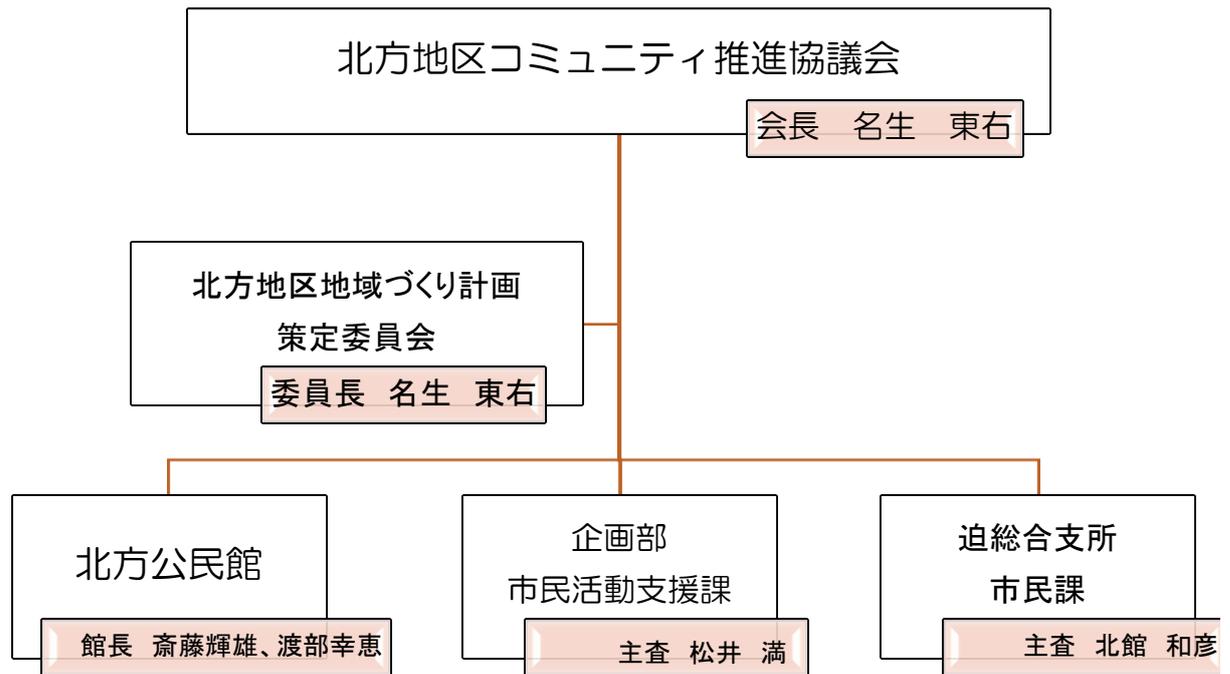
地域づくり計画は、「自分たちの地域はどんな地域なのか？」、「どんな資源があるのか？」、「地域の課題ってなんだろう？」等々、地域のみなんで話し合うことが非常に大切であり、また、その話し合いの過程（プロセス）が非常に重要なポイントとなるものです。北方地区コミュニティ推進協議会では、地域の声を聞きながら地域の課題や地域の資源を再確認することを重点に掲げ、「北方地区地域づくり計画策定委員会」を組織し話し合いを進めてきたところです。なお、地域の様々な声を拾い上げる取り組みとして、アンケート調査を実施し、具体的な行動計画をまとめ上げたものです。「ふるさと！きたかた」に安心してずっと住み続けるためには、各行政区での自主的な地域づくり活動の継続と、北方公民館を拠点とした、地域づくりが重要なポイントとなるので、この度策定した、「きたかた5ミッション」を進めるにあたっては、今後においても、幼稚園、学校、NPO等、様々な主体との協働による地域づくり実践活動を進めることとします。

※地域づくり計画の期間

地域づくり計画の策定は平成26年度とします。計画に基づき平成27年度より、5年間で、住みよい地域の実現に向けた具体的な取り組みを行います。



③地域づくり計画策定の推進体制



④事業実施経過

1) 策定委員会等の開催

第1回策定委員会

平成26年 8月 5日(火) 19:00～ 34人参加

- ・委嘱状の交付及び委員長・副委員長の選出
- ・北方地区地域づくり計画策定委員会規約(案)の確認
- ・地域づくり計画の策定について 企画部市民活動支援課 主査 松井 満
- ・ワークショップによる地域課題・資源の洗い出し

講師：特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム
理事 足立 千佳子 氏

第2回策定委員会

平成26年 9月 8日(火) 19:00～ 24人参加

- ・まだまだあるよね地域の宝 続!ワークショップ

講師：特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム
理事 足立 千佳子 氏

第3回策定委員会

平成26年10月16日(火) 19:00～ 22人参加

- ・北方未来予想三大ニュース ワークショップ
- 前回までの話し合いを含め 北方地区の地域づくり5本柱を決定

講師：特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム
理事 足立 千佳子 氏

第4回策定委員会

平成26年11月25日(火) 19:00～ 17人参加

- ・北方地区地域づくり5本柱へ意見を仕訳け ワークショップ
- 5本柱にアンケート&ワークショップでの意見を振り分け

講師：特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム
理事 足立 千佳子 氏

第5回策定委員会

平成27年 1月15日(木) 19:00～ 22人参加

・北方地区地域づくり計画素案・概要版について ワークショップ
概要版の周知方法の検討

講師：特定非営利活動法人 まちづくり政策フォーラム
理事 足立 千佳子 氏

2) 住民アンケートの実施

調査期間 平成26年9月8日から平成26年9月24日まで

調査対象 対象者は、行政区毎に人数按分し、400人を対象に実施

調査方法 行政区長さんを通じ、配布回収を行った。

集計作業 平成26年10月6日(月) 公民館図書室内

事務局：斎藤館長、渡部幸恵、企画部市民活動支援課 松井主査

回収率 60.0%



⑥ワークショップ（策定委員会）の様子



4. きたかた5ミッション ～ 地域づくり計画 ～

次世代への人づくりでは、世代間交流を始め、伝統文化の継承、結婚活動などを中心とした意見が多く寄せられた。公民館を拠点に、小学校、幼稚園との連携を図り、PTA層の若者と連携による地域間交流や地域の知恵を生かした文化の伝承を進めます。また、20代30代層の地域の若者に対する結婚対策について、コミュニティのみでの解決はできないことから、NPOとの連携を進めます。なお、東京迫会(北方出身者)等、ふるさと北方！出身者への情報発信や交流によるつながりを深めていくこととします。

【ミッションⅠ】 次世代への人づくり

事業内容	詳細	実施時期			役割	
		既に実施中	実施予定	将来やりたい	コミュニティ(地域)	行政
1 世代間交流事業	1)親子グランドゴルフ大会	○			○	
	2)子供と一緒にしめ縄づくり	○			○	
	3)北方神楽継承(学芸会)	○			○	
	4)昔遊びの伝承・指導	○			○	
	5)北方っ子！！お祭りイベント			○	○	
	6)東京迫会(北方出身)都市交流・PR活動			○	○	
2 子育て支援事業	1)公民館を活用した託児所			○	○	○
	2)北方っ子見守り隊の充実	○			○	
	3)NPOと連携した結婚対策		○		○	
3 情報提供事業	1)公民館図書の充実	○			○	

【ミッションⅡ】 助け合って暮らす地域づくり

助け合って暮らす地域づくりでは、防災、交通を中心とした意見が多く寄せられたところです。防災においては、自主防災組織の充実、小学校等と連携した防災の取り組みなどがあげられ、また、登下校時の子供の見守り、一人暮らし世帯の定期的な見守り、除雪時の各戸の戸口除雪の取り組みに対する意見がありました。助け合って暮らす地域づくりのためには、地域の拠点である公民館や公民館行事を活用し、地域での希薄化の解消に結び付けていくこととします。

事業内容	詳細	実施時期			役割	
		既に実施中	実施予定	将来やりたい	コミュニティ(地域)	行政
1 防災・交通事業	1) 北方一斉防災訓練			○	○	
	2) 自主防災組織の充実	○				
	3) 幼・小学校と合同訓練		○		○	
	4) 防災無線の充実				○	○
	5) 市民バス・スクールバスの充実					○
2 見守り事業	1) 北方っ子見守り隊の充実	○			○	
	2) 一人暮らし世帯の見回り	○			○	
3 地域拠点事業	1) 公民館施設の有効活用PR	○			○	
	2) 公民館事業の充実	○	○		○	
	3) NPO等との連携したイベント		○			
	4) 企業の誘致による定住					○
	5) HP開設による情報発信・北方出身者への情報発信			○	○	

【ミッションⅢ】 地域の宝・地域活動

地域の宝・地域活動については、北方の地域資源を活用したイベントや北方の史跡・歴史の継承活動に対する意見が多く寄せられました。北方地域のシンボルである長沼を活用したイベントやオランダ風車を活用した北方地区のPR活動を進めて参ります。また、これらの活動は多様な主体と協働して行うことが必要であり、NPO等各種団体との連携のもと進めて参ります。

事業内容	詳細	実施時期			役割	
		既に実施中	実施予定	将来やりたい	コミュニティ(地域)	行政
1 地域資源活用事業	1)昔祭りの復活！盆踊り			○	○	
	2)長沼を活用したイベントの開催		○		○	○
	3)北方の史跡や歴史の継承活動(長沼八景等)			○	○	
	4)オランダ風車を活用した北方PR作戦		○		○	
	5)NPO等と連携した「きれいな長沼」環境づくり!		○		○	



【ミッションⅣ】 農を活かした地域づくり

農を生かした地域づくりにおいては、米価の下落による農業経営に対する意見が多く寄せられた。一方でブランド化の推進や6次産業による解決方策もあげられています。また、北方地区内での地産地消運動による安心安全な食材の確保の必要性や地域の特産品として「観音寺せり」等農産物のPR活動(マスメディアの活用)があげられている。子供たちが取組む農業体験や都市との交流を活用した移住定住に対する意見もあげられている。 ※北方地区では、昔から地域ごとに栽培していけない野菜が決まっており、継承されている。

事業内容	詳細	実施時期			役割	
		既に実施中	実施予定	将来やりたい	コミュニティ(地域)	行政
1 農を生かした地域づくり事業	1) 地域農業の振興					○
	2) 北方地産地消運動			○	○	
	3) 地域特産品の継承・PR活動	○			○	○
	4) 田園風景の継承活動	○			○	
	5) 北方っ子農業体験!	○			○	
	6) 「北方の名人発掘!」地域で活動	○			○	
	7) 長沼物産館の活用			○	○	○



【ミッションV】きれいなふるさとづくり環境改善

きれいなふるさとづくり環境改善では、ごみのポイ捨てなどのマナーに対する意見がある一方で、北方地区では、ごみ集積所がカギ当番制になっていてきれいであることから継続した取り組みが必要との意見が寄せられている。また、長沼の環境改善に向けた取り組みについては、NPO等と連携した取り組みが必要との意見がある。なお、「北方地区4つの約束」として、①一斉清掃への毎戸参加、②戸口の雪かき、③ポイ捨て禁止、④宅地内の枝木の管理の徹底(道路にはみ出さない)の意見がある。

事業内容	詳細	実施時期			役割	
		既に実施中	実施予定	将来やりたい	コミュニティ(地域)	行政
1 きれいなふるさと事業	1)ごみ集積所マナーの継承活動	○			○	
	2)NPO等と連携した長沼の環境改善活動		○		○	
	3)カーブミラー・防犯灯・信号機の設置による危険対策					○
	4)北方地区4つに約束の推進		○		○	
	5)北方安全マップの作成			○	○	
	6)道路・歩道の整備対策					○

～北方地区4つの約束

- ◎一斉清掃活動への参加しよう
- ◎除雪後の戸口の雪かきをしよう ～地域で協力～
- ◎ごみのポイ捨てをなくそう
- ◎宅地内の枝木の管理をしよう ～地域で協力～

～みんなで協力して素敵なふるさと北方を～

資料編

北方地区コミュニティ推進協議会 既存事業の充実



北方地区運動会



ソフトボール大会



バレーボール大会



ゲートボール大会



グランドゴルフ大会



花いっぱい運動会



ユニカール大会



芸能文化祭



親子クランドゴルフ大会



親子ユニカール大会



ノルディックウォーキング



北方神楽継承活動



編み物教室



しめ縄づくり教室



街頭キャンペーン



お盆野球大会

北方！いいものさがし ～地域の資源・宝～

注) 北方地区の資源・宝は、もっともっと、たくさんありますが、一例を掲載しています。



北方観音寺せり



北方っ子見守り隊



ふるさと花火in長沼



長沼



首壇



兵糧山



〈デザインの趣旨〉

デザインは、北方地区コミュニティのシンボルマークです。
平成3年3月に制定されたもので、漢字の北の字を2羽のハトでデザイン化したもので、地区民が協力して未来に飛躍する願いが込められています。

発行	平成27年3月
作成団体	北方地区地域づくり計画策定委員会
作成担当	北方地区コミュニティ推進協議会